

おしらせHOTコーナー

ふれあい福祉コーナー

女性の健康

自分の身体は自分で守ろう

①子宮がん検診
20歳を過ぎたら2年に1回、子宮がん検診を！

年々、子宮がんが増えてきています。市の検診でも毎年のように子宮がんが見つかっています。子宮がんには、頸部がんと体部がんがあります。頸部がんは、30歳代から40歳代までで多く発症するの

が特徴ですが、最近では20歳代の方も増えていきます。これは性交渉で感染するヒトパピローマウイルス（HPV）の感染が関係しているからです。初期の段階では、自覚症状はありません。また、体部がんは、50歳代から60歳代までで多く見られるのが特徴です。特に閉経を迎えた方、肥満・高血圧・糖尿病のある方はリスクが高くなります。

初期の症状として、不正出血があります。

検査方法としては、頸部と体部の二種類あります。頸部がん検診は、細胞を綿棒などで採取する細胞診を行います。また、体部がん検診は、内膜細胞診による組織検査を行います。ぜひ、この機会に検診をお受けください。

市内在住の20歳以上（平成元年3月31日以前に生まれた方）の女性（昨年度、市の子宮がん検診を受けた方を除く）

頸部がん検診1700円 頸部・体部がん検診2500円※八潮市国民健康保険加入者、生活保護受給世帯、市民税非課税世帯、受診当日70歳以上の方は自己負担なし。

10月31日まで

市内：八潮中央総合病院、草加市

何川医院・木島医院・児玉医院・草加菅原レディースクリニック・瀧澤医院・松原レディースクリニック・水野医院

☎電話で健康増進課（☎995・3381）へ。

※受診券を郵送または窓口にてお渡しします。受診券を持って前記の委託医療機関で受診してください。

②乳がん検診
乳がんも子宮がんと同様に年々増えていますが、早い段階で見つけることができれば治るがんです。

現在、保健センターでは、乳がん検診を行っています。検診では、専門の医師による視触診と、しこりとして触れないごく早期の乳がんも発見できるマンモグラフィ（乳房専用のX線検査）を行います。

また、乳がんは唯一自分自身で見つけることができるがんであり、自己検診がとても有効です。検診当日は、保健師による自己検査法の講話も行っていきます。ぜひ、この機会に検診をお受けください。

40歳以上（昭和44年3月31日以前に生まれた方）の女性（昨年度、市の乳がん検診を受けた方を除く）

乳X線検査500円、乳房X線検査1240円

※八潮市国民健康保険加入者は、視触診の自己負担なし。生活保護受給世帯、市民税非課税世帯、受診当日70歳以上の方は自己負担なし。今年度は偶数月に実施。広報やお知らせします（現在受け付けているのは10月14日の検診分です）。

保健センター
☎電話で健康増進課（☎995・3381）へ。

完全燃焼!インターハイハンドボール



平成20年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）のハンドボール女子競技が、八潮市・三郷市・吉川市で行われました。市内では、7月29日から31日までエイトアリーナで、1回戦から3回戦までの試合が行われ、全国各地で数々の戦いを勝ち抜いてきた選手の皆さんが熱戦を繰り広げました。市内中学卒業生の男女出場選手・出身校は次のとおり。（敬称略）
＜浦和実業学園高等学校＞
鈴木歩美（3年・八潮中） 田村春華（3年・八潮中） 細川奈美（2年・八潮中）
＜埼玉栄高等学校＞
小倉野乃子（2年・八潮中） 相田かなえ（1年・八潮中）
＜川口東高等学校＞
櫻井貴弘（2年・八潮中）

いきいきやしお写真館

着衣泳～万一の事故に備えて～



7月8日、八條北小学校で万一の水の事故にあわてないで対応できるようにするために服を着たまま泳ぐ着衣泳が行われました。参加した3年生から6年生の児童からは、いつもと違って体が思うように動かずに「重い!」「進まない!」との声が上がっていました。また、ビニール袋やペットボトルを浮き輪代わりに利用して体を浮かせる練習では、最初はなかなかうまくいかなかったのですが、先生の指導のもと、上手に浮かせて「できた!」と大きな歓声が上がっていました。

世界でたった一つだけの作品



7月19日、資料館で藍染め講座（絞り染め）が行われました。毎年恒例のこの講座は、資料館ボランティアの方の協力により、たくさんの方に体験していただいています。参加者は出来あがり想像しながらサラシに大きなビーズを包んで縛り、藍の染料や薬品、洗い水を含め、5種類の液体に布を漬けるなど、手際よく作業を進めていました。「縛るのが難しかったけど、素敵な柄に染め上がってうれしかった」「染め上がった布を広げるときはワクワクした」と、初めての体験に夢中になった参加者は、染め上がったばかりの作品を満足げに風になびかせていました。

おいしい!新鮮野菜を使って食育



7月20日、ゆまにてで「親子食育教室」が行われました。親子ふれあい体験農業で作付けした野菜（なす、枝豆、とうもろこし、小松菜）を収穫して、八潮市食生活改善推進会の調理指導により「スープカレー」や「小松菜もち」などを作りました。新鮮野菜を利用した料理は、参加した6組20人の親子にとっても好評で「自分で育てた野菜のせいか、子どもが残さずに食べてくれてよかった」「子どもと一緒に農作業や料理ができてよかった」などの感想が聞かれました。